

平成 29 年度普及活動アルバム

長野農業改良普及センター

平成27・28年が連続して秋の天候不順に見舞われたことから、農業者や農業関係者には“29年こそは”という強い思いがありましたが、お盆過ぎからの長雨や10月の台風接近等により、多くの農作物で作柄や品質の低下を招きました。

とりわけ、長野地域の基幹である果樹においては、「りんご」の成熟遅れや肥大不良、「ぶどう」の裂果などが発生し、生産目標を下回る状況となりました。

長野は「果樹」の大きな産地であり、今後も“うまい”果物づくりに向けて新品種の積極的導入や生産力を高める改植の推進、気象変動にも対応する生産安定技術の導入など、マーケットの期待に応える産地マネジメントに取り組んでまいります。



【5月】

数年後の就農を検討している社会人やブドウ・リンゴの新技术導入を検討している農業者を対象にブドウ短梢栽培技術、リンゴ新しい化栽培技術の短期習得を目標に、「短期習得実践道場」を平成29年度から開講しています。

今後、ブドウ・リンゴの最新技術を習得した道場生が新技术を導入し、農業経営を早期に確立されることを願うものです。

(担い手経営部会)



【7月】

管内の技術者を対象にもも樹体凍害対策台木の現地検討会を12日に開催しました。

篠ノ井東福寺にある台木試験ほで樹体凍害対策台木として、ひだ国府紅しだれ台、払子台、慣行台木としておはつ台の樹体や生育状況を確認しました。当日は20名ほどの技術者が参加し、熱心な検討が行われました。

(果樹部会)



【8月】

信州の伝統野菜に認定されている「戸隠大根」について、理解を深めてもらおうと、戸隠中学校1年生18名を対象に、「信州の伝統野菜と戸隠大根について」説明を行いました。

当日は、「戸隠おろし振興会」指導の下、学校の菜園を使って、畑作りから戸隠大根の種まきまで、生徒達が実際に体験を行いました。

(地域第一係)



【10月】

技術者及び管内の生産者を対象に、アスパラガスの多収技術の習得に向けて、現地検討会を開催しました。

多収を実現している須坂市と千曲市の生産者のほ場にて、園主から栽培の概要と工夫している点をご説明いただき、出席者から多くの質問が出され、活発な意見交換が行われました。先進的な栽培方法が地域に波及することが期待されます。(野菜部会)



【1月】

長野地域の農業青年が一堂に会し、農業経営上の諸課題を解決する実践力の習得や相互研鑽を目的とした発表会を開催しました。

営農活動での課題解決の成果発表と将来の農業への思いを語っていただきました。

この発表会を通じ、自らの課題の解決や地域の農業の発展につながることを期待しています。

(担い手部会)